



食糧および医薬品に用いられている生物多様性



✓ 指標ファクト

CBD 分野: 生態系保全と生態系の産物およびサービス

CBD 見出し指標: 食糧および医薬品に用いられている生物多様性

キー指標パートナー: TRAFFIC

利用可能データ: 食糧および医薬品に使用される動物の地球規模の時系列、1978 年以降および地域/国別ケース スタディ

開発状況: 地球規模での使用準備完了 (レッドリスト指数コンポーネント)

? 理由

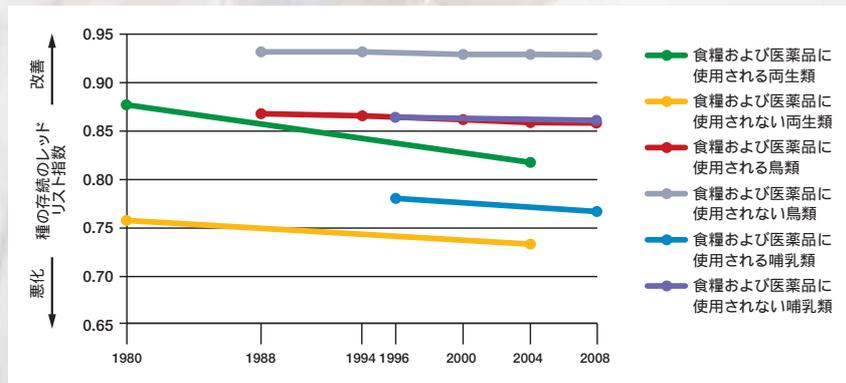
多くの陸域動物種と植物種が人間によって食糧および医薬品に使用されています。これらの種は、特に発展途上国では食事や健康管理に大きく貢献しています。およそ 50,000 ~ 70,000 の植物種が従来および現代の医薬品に使用されています。食糧および医薬品に使用される多くの野生種は、過剰開発や生息地損失、病気、またはそれらの要因の組み合わせなどのさまざまなプレッシャーにより絶滅の危機にさらされています。原因を問わず、これらの資源の利用が減少していることで、それに依存している人々の野生収集からの所得、健康面、満足できる生活状態が脅かされています。

📄 状況

食糧および医薬品の生物多様性指標は、生物種プログラムと BirdLife International の支援を得て、IUCN-SSC 薬用植物スペシャリストグループの協力のもとで TRAFFIC によって開発されました。この指標によって、食糧および医薬品に使用される動物の保護状況の経時的変化が測定されます。食糧用に収穫される植物は含められませんでした。医薬品用は別にして、ほかの目的のための収穫データの収集は陸域動物に対するものほど進んでいません。

現在の食糧および医薬品指標は、絶滅危惧動物に関する IUCN レッドリストのデータに基づいています。食糧および医薬品に使用される鳥類、哺乳類、両生類のレッドリスト指数 (RLI) が作成されました。ここでは、IUCN レッドリストの各種の状況の継続評価データが使用され、経時的な絶滅危惧の全体的推移を示しています。

指標



使用種および非使用種のレッドリスト指数

レッドリスト指数では、追加保護アクションなしで近い将来も現存することが予想される種の全種に対する比率、両生類、鳥類、哺乳類で食糧および医薬品に使用される種、使用されない種の比率が示されます。

出典：IUCN 生物種プログラムと BirdLife International の協力により IUCN レッドリスト データを使用して作成された RLI

指標の解釈方法:

IUCN レッドリスト指数 (RLI) によって、生物多様性の状況推移の指標として、種グループの全体的な絶滅危機の推移が測定されます。RLI 値の低下 (下方傾斜線) は、予想絶滅率 (生物多様性損失) が上昇、つまり生物多様性損失率が上昇していることを示します。水平型のグラフ線 (RLI 値が変わらない) は、生物多様性損失予想率が上昇していることを示します。上昇グラフ線 (RLI 値が上がっている) は、将来の種の絶滅予想率が下がっている、つまり生物多様性損失速度が減速していることを示します。

現在の筋書き

「食糧および医薬品に使用される多くの野生種は、過剰開発や生息地損失、またはさまざまな要因の組み合わせなどのさまざまなプレッシャーにより絶滅の危機にさらされています。現存する既知の 9,956 鳥種のうち、14% は食糧または医薬品に使用されるものと考えられます。全鳥種の 12% が脅威にさらされていると分類されますが、食糧および医薬品に使用されるものの 23% は脅威にさらされています。同様に食糧および医薬品に使用される哺乳類 (すべての既知の哺乳類の 22%) は、食糧および医薬品に使用されないものより平均してより脅威にさらされています。鳥類、哺乳類とは対照的に、食糧および医薬品に使用される両生類は、使用されないものほど脅威にさらされていないように思われます。ただし、これらの種の保護状況は食糧および医薬品に使用されていない哺乳類より急激に低下しています。

世界で立証された薬用植物相のうち地球規模の保護状況に対して評価されているのは 3% にすぎません。脅威にさらされていると考えられる薬草植物相の比率は、1997 年から 2008 年の間は比較的安定しているように思われます (ca 40% ~ 45%)。ただし、この安定性は多くのものが変動したため人為的結果による可能性があります。このパターンが薬草種の大きめでより代表的なサンプルの評価によって維持される場合、薬草の保護状況が警告を発しています。

国内使用

レッドリストベースの指標は、食糧および医薬品に使用される種の地球規模での状況に焦点が当てられます。利用される種の国別 RLI は、地球規模の指数を分解、または国レベルで絶滅リスクを繰り返し評価することによって計算できます。多くの諸国では後者のアプローチ (www.nationalredlist.org を参照) の基準となる (通常、すべての脊椎動物の) 国別レッドリストを蓄積していますが、一貫した方法で 2 回以上実施した国はほとんどありません。ただし、蓄積すればするほど、使用される種と使用されない種に分解できるより多くの国別 RLI が使用できるようになります。

国別 RLI の作成の詳細は、2010 BIP Web サイト (www.twentyten.net/guidancedocumentsforationaluse) から入手できる刊行物、IUCN レッドリスト指数 - 国および地域使用のガイダンスを参照してください。

食糧および医薬品指標の地域および国別生物多様性作成の詳細については、TRAFFIC (Thomasina.oldfield@traffic.org) の Thomasina Oldfield までお問い合わせください。



Photo credits: Snake wine ©Proggie; Seoul medicine market ©US Army Korea - IMCOM; Dried seahorses ©Mark Belokopytov; Caged reptiles ©Dan Bennett; Chinese medicine ©Clairegren.